

一般質問通告一覧表

令和4年3月

【一般質問】3月9日(水)、10日(木) 午前9時～

| 質問 順位 | 会派名 (制限時間) | 質問者 | 質問項目 |
|----------|-----------------|------|---|
| 1 | いなべ未来 (180分) | 岡 英昭 | <p>1.新年度に向けた教育の諸課題</p> <p>(1)スポーツ庁は2021年度全国体力テストの結果を公表した。コロナの影響で小中学校の男女とも体力低下が鮮明となった。効果的な体育の授業方法を普及するなど運動意欲を向上させる取組を促すとしていることから、市の現状と対策について問う。</p> <p>(2)いじめ防止対策推進法等で国は、長期の不登校となったケースなどを「重大事態」として学校に速やかな調査を義務づけているが、三重県内公立小中学校では調査結果が公表されなかった。学校の対応や公表のあり方も問題となった。 各学校が毎月提出する「問題行動報告」の令和3年度の概要といじめ問題の現状は。</p> <p>(3)今年4月より民法改正で成人年齢が18歳に引き下げられるが、すでに選挙権年齢が引き下げられ主権者教育などが行われてきている。先の首相発言で、無用のトラブルに遭うことにならないよう、幼少期からの教育による能力の育成が重要と指摘があった。そこでいなべ市の取組について質問する。</p> <p>(4)新年度からの小学校教科担任制の本格導入に向け、現場の課題に応じて政策的に配分する加配定数の増員が決定した。令和4年度からの教育界の大きな変革となる。令和3年12月定例会での答弁では「教職員の増員がない中では難しい」との答弁があったが、文部科学省から教職員の加配数が示された今、大きな変革の流れの中、どのような方向性をとるのか、あらためて質問する。</p> <p>2.会計管理者について</p> <p>(1)資金運用について、有利な運用を行うために心がけていることは。</p> <p>(2)低金利の中、資金運用で苦労していることは。</p> <p>(3)地方自治法第170条第2項第1号に定める現金の出納及び保管を行うことについて、どのようなことに留意して保管しているか。</p> |
| 2 | | 伊藤三保 | <p>1.学校給食の無償化について</p> <p>(1)本市で、給食費の滞納をしている世帯の現状は。</p> <p>(2)学校給食費を無償化する考えは。</p> <p>2.就労困難者の就労支援について</p> <p>(1)ひきこもりの方の就労支援について</p> <p>(2)事故、病気等で就労困難になった方への支援について</p> <p>(3)障がい者の就労支援について</p> |
| 3 | | 渡辺一弘 | <p>1.いなべ市北勢斎場について</p> <p>(1)北勢斎場の老朽化について対応と耐用年数は。</p> <p>(2)斎場使用時の黒煙の状況把握と対策していることは。</p> <p>(3)現在の斎場の炉の数で「いなべ市の人口」に対して斎場としてのキャパシティに適合できているのか。</p> <p>(4)斎場に関する計画は。</p> <p>2.積雪対策について</p> <p>(1)除雪の指定路線を増やすという考えはないのか</p> <p>(2)除雪作業が出来ない高齢者世帯などの、今年以上の積雪も考慮した、市としての方向性は見出しているか</p> <p>(3)昨年のような年末のような、大雪での積雪量の時に、火災をはじめ地震や自然災害等があった場合の行政としての危機管理をどのように考えているか</p> |

次ページへ続く

| 質問 順位 | 会派名 (制限時間) | 質問 者 | 質問項目 |
|----------|------------------------------|---------|--|
| 4 | | 小寺徹翁 | <p>1.道路整備の推進は (1)県道県田辺線について (2)県道南農北勢線とほくせい保育園の交差点付近について (3)県道北勢多度線から市役所への入り口道路の交差点の安全対策は。</p> <p>2.雪害対策について (1)昨年末には1メートル以上雪が積もった地域もある。高齢者のみの世帯の方などは家から出られず、買い物にも行けない人がたくさんいて、生活に支障をきたした。市として、雪害に対してどういった対策を講じているか。 (2)除雪機購入、あるいは除雪にかかる経費などへの補助金の考えは。</p> |
| 5 | 創風会 (120分) | 伊藤智子 | <p>1.コロナ禍における市民サービスの変化について (1)前回のコロナ流行期(第5波)から見直したり拡大したりしたサービス(事業)は。 (2)就園前、保育園児が利用する施設で気をつけていることは。また、日常生活で気をつけてもらうよう啓発していることは。 (3)小中学校の学級閉鎖、学年閉鎖などの状況と学校施設で感染拡大防止のため気をつけていることは。 (4)コロナ感染もしくは濃厚接触者となり学校や職場に行けない状況の方たちが地域で孤立し、引きこもりのきっかけにならないよう市として手を差し伸べるような支援策はあるか。 (5)家族全員が罹患した場合の支援方法は。 (6)身体について・精神面について・経済についての相談場所は。 (7)ステイホームで自宅に閉じこもりがちな人へのケアとして、生活管理チェックができるような啓発を行っているか。</p> <p>2.野遊び推進事業・宇賀溪キャンプ場 観光施設整備事業について いなべ市はSDGs 未来都市として事業を進めています。 市の発展はもとより、市民参加による市民の心身・経済のうるおいをもたらす事の大切さを重視するべきと考え質問します。 (1)各事業の進捗状況は。 (2)今後の計画は。 (3)市民参加の方法、計画とスケジュールは。</p> |
| 6 | 日本共産党 いなべ市議 団 (60分) | 岡 恒和 | <p>1.いなべ市の「地方創生事業」を問う 市は2016年度から国の「地方創生交付金」事業を始めた。この事業は現在進行中であるが、複数年度にわたる事業展開がなされていくため全体像が見えにくくなっている。今回は、市の「地方創生事業」の全体像を確認し、課題や問題点を問う。 (1)交付決定された事業について (2)宇賀溪キャンプ場整備について (3)野遊び事業(農業公園キャンプ場整備事業)について</p> |

次ページへ続く

| 質問 順位 | 会派名 (制限時間) | 質問者 | 質問項目 |
|----------|---------------|-------|---|
| 7 | 無会派 (45分) | 篠原史紀 | <p>1.地方創生事業は本当に住民福祉の向上につながるのか。 (1)国から採択を受けた事業の目的、具体的事業内容、進捗、今後の計画は。(①グリーンクリエイティブいなべの推進による INABE づくり ②住んでい〜な!来てい〜な!活力創生のまち いなべ推進事業 ③いなへガシユアルSDGsによる 山辺ビジネス開発) (2)2つの新しいキャンプ場について (3)SDGs 未来都市(自治体SDGsモデル事業)「グリーンクリエイティブいなべ〜グリーンインフラ商業施設「にぎわいの森」から、カジュアルなSDGs 推進を世界へ〜」</p> <p>2.「Inabe にぎわいプラン The road to 2024」施行から1年 (1)2016年2月から施行した第1期計画「にぎわいの森 活性化計画」を進化するための2024年までの第2期目の計画であるが、当初計画からの課題は。 (2)にぎわいの森を核にしたまちづくりが始まって3年目になる。コロナ禍で集客が難しい点もあったと思うが、特に成果が出たことは。 (3)周辺への回遊促進、それによる経済効果や波及効果の現状は、今後の見込みは。 (4)計画では、生業支援や移住促進に繋げることも目的の一つとして掲げられているが、進捗はどうか。</p> |
| 8 | 無会派 (45分) | 西井真理子 | <p>1.市民が理解できる地方創生事業となっているか (1)内閣府が示す様々な地方創生事業がある中、なぜ「野遊びSDGs」を選択したのか。 (2)野遊び推進事業による市及び市民への効果について (3)にぎわいの森と同じで、野遊び推進事業の施設も市が建設すると説明を受けている。この場合、施設の維持管理のため市の負担が続くことになる。土地を貸し、他は民間で行ってもらう企業誘致の形をとる考えは。 (4)株式会社スノーピークに頼らなければ自然を活かした観光事業は成功しないのか。 (5)第2次いなべ市総合計画の理念の実現を目指す中、近い将来迎える高齢者人口の増加と少子化対策に耐えうる事業になると考えるか。 (6)野遊び推進事業の候補地が、旧ドロマイト鉱山跡地から農業公園に乗り換えられた。その理由として、農業公園の運営に対する市の財政的負担をあげられた。これまで、農業公園が「市の負担となっている施設」との認識であったのか。 (7)農業公園に対する市の財政負担がゼロになる公算はどのようにされたのか。 (8)農業公園は地域住民の知恵と工夫によって作り上げられてきたものである。この場が姿を変えていくことについて、説明はなされているか。 (9)株式会社スノーピークとはどのような契約を結ぶのか。 (10)市長が描く10年後のいなべ市の姿は。現在、計画している地方創生事業によって、いなべ市の商工業、福祉、子育て支援など市民の福祉増進にどのように寄与していると考えるか。</p> |